

岐阜県 グループホーム北山

(様式1)

自己評価票

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|--------------------|--|--|----------------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所独自の理念は掲げられていない。運営推進会議の開催により、自治会連合会、民生委員の方から地域の行事の情報、事業所の行事参加への協力要請など少しずつ理解して頂けるよう、広報に取り組んでいる。 | ○ | 6月の始めにケアハウス、グループホーム共同でバスツアーを行う予定。先回の会議の際、自治会、民生委員の方にボランティアの参加をお願いしてある。 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員全員で、利用者にホーム内だけの閉鎖的な生活をさせてはいけないという認識の統一はされている。日常生活では散歩、買い物に出掛ける様になっている。ただ地域行事の参加は殆どできていない。 | ○ | 散歩などで近隣の方には理解して頂いている方はいる。今後はホームから地域の行事に参加していきたい。 |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | きちんとした理念が掲げられていないため、具体的な事がまだできていない。 | ○ | 入居者の方が地域の中で暮らし続ける為の理念を、地域の方やご家族のご意見を聞きながら、職員間で共有して作成する。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | グループホームの理解が広がっていないので、立ち寄って頂けるような付き合いができていない。 | ○ | 今回のバスツアーを含め、福祉会全体としての行事を開催することで理解を深め、気軽に来て頂けるような行事を開催していく。 |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会には入っているが、地域の一員としての役割ができていない。 | ○ | 運営推進会議からの接点をきっかけに地域参加をしていく。 |

岐阜県 グループホーム北山

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| 6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 福祉会自体は地域の方の多大な協力、理事、評議委員の方も地域の方なので、施設のホールを利用して頂いたり、相談所を設けたりしている。グループホーム自体では役立つような働きかけができていない。 | ○ | 自治会、民生委員の方と話し合い、連携をとって役立てることができれば積極的に行っていく。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 開かれた運営をしていく意義は理解している。評価の改善点で対処できる部分は対処している。 | ○ | 地域への関わりや、金銭的な部分で改善できていないことが弱点として福祉会全体で認識し、少しでも改善できるように努めていく。 |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議を開催することで、認知症のこと、ホームでの生活を含めて、まずグループホームとはどんな所かということをしつづつ理解頂いている。入居者の方が地域に参加できるように協力して頂いている。 | ○ | ホームを理解して頂くことで、地域に慣れ親しめるように行事に参加させて頂く。また委員さんより貴重な意見がある時は、きちんと反映していくように努める。 |
| 9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村担当者とのお行き来は会議以外ではできていない。 | ○ | 会議での情報交換を行い、市から1ホームに対してどのようなことを協力して頂けるか確認して連携を取っていく。 |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 学ぶことができていない。 | ○ | 学習会を持ち、職員皆で認識して活用できるように行いたい。 |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 法律としては学習していない。虐待は人間の尊厳を損ねる事として職員間で理解している。 | | 職員のストレスが溜まりやすいので、虐待の意識につながらないように、十分とはいえないがコミュニケーションをとり、入居者に対して負のイメージを持たないように努めている。 |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>同意を頂く上で、説明、疑問点がある時は改めて説明させて頂いている。</p> | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>第三者の苦情相談員に定期的に訪問して頂いている。ご意見箱もホームの玄関に設置して、訪問時に確認して頂く様にしている。</p> | |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>入居者の状況を伝える「お便り」や電話連絡、ホームの新聞を定期的に発行し、毎月請求時に金銭出納表や使用した小遣いの領収書等を送って、残金の確認をしていただいている。</p> | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご意見箱の利用、福祉会の苦情処理担当者の名前を掲示して速やかに対応するよう努めている。</p> | |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>職員間の風通しを良くして、意見が言い易い環境作りに努めている。反映できる部分は速やかに行っている。</p> | <p>定期的ではないが職員全員のカンファレンスを行い、意見交換をしている。今後定期的に行えるように努めていきたい。</p> |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>入居者の状況により、1対1の対応が増えて全体的に見れば柔軟な対応はできていない。職員配置は夜勤以外は常時2名である。</p> | <p>対応が必要な時は少しでもその時間帯に必要な人員を配置できるように心掛けている。今後ご家族、ボランティアの方、隣のヘルパーステーションに協力を得ていく。</p> |

岐阜県 グループホーム北山

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | なじみの関係を崩さないように努めている。入居者の方に環境の変化があった時は、その方の性格に合わせて話すように配慮している。 | ○ | 管理者の異動があるため、皆さんへの配慮がさらに必要となるため注意していきたい。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部の研修等、利用できていない。 | | 外部の研修になるべく参加できる機会を設けていく。また不定期に行っている学習会を定期的に行えるようにしていきたい。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のケア会議には参加しているが、交流するまでのアプローチができていない。 | | 同業者と情報交換を行い、交流を深め質の向上を図っていきたい。 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 声をかけたり、話をしてもらったりと悩みは出してもらっているが、必ずしもストレスの解消にはつながっていない。 | | 職員の親睦会や、定期的なカンファレンスで思いを共有したりとできることからやっていく。福祉会全体として方向性を決めて行く必要。 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員の仕事に対するの努力に感謝している。ただ職員が向上するような外部研修の参加等ができていない。 | ○ | 職員個々の長所を生かした介護環境が作りを目指す。学習会、研修に参加して質の向上を目指す。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | アセスメントシートを使用して、基本情報から趣味得意なこと、職歴、医療に関する事、日常生活の状態など細かく情報を共有させて頂き、今後生活する上で的心境を確認しながら利用して頂けるように努めている。 | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | これまでの課程に対して共有し、ご家族からの意見を尊重して、納得して頂いた上で利用して頂けるように、面談、電話連絡で説明と同意を基に話し合わせて頂いている。 | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 求めている支援の方向性が違う時は、助言させて頂いている。 | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ご家族と意見交換をきちんと行っている。入居に対して不安のある方は以前にお試し入居をして頂いた。また不安の強い方にはご家族の協力を得て、慣れるまではできる限りホームまで通って頂いている。 | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者の性格を把握して、思いを受容し決して強制せずにできることをやっさせて頂きながら、あるがままを受け止めていけるよう職員間で対応している。 | 趣味や仕事で培って来た事を、ホームの生活の中でも継続できるように支援していく。 |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------------|--|
| 28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 入居者の普段の会話から要望を把握し、ご家族の方に連絡を取って相談し、ホームでの生活状況を伝えている。家族の心情を理解し、協力して支援していけるように努めている。 | | |
| 29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族背景を認識して、ご本人の要望をご家族のできる範囲で協力して頂き、無理のない関係作りに努めている。 | | ホームに入居したことで、家族関係が疎遠にならないよう、ご家族と話し合っできる限り来て頂けるように努める。 |
| 30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 普段あまり外出できない方にはお盆などの節目には、ご本人の思いを伝えて、なるべく出掛けて頂くようにご家族の協力をお願いしている。 | ○ | 入居者とご家族の関係を配慮しながら、なるべく出かけて頂いたりして関係の継続に努める。 |
| 31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 集団生活であり性格もさまざまな方達の中で、皆さん自身が個々の性格を理解されて生活の雰囲気ができる。中には孤立気味の方もいるが、世話役の方が上手く声をかけて下さり、その方の精神安定にもつながっている。 | ○ | 入居者間でストレスが元で衝突もあるので、うまく話題を変えたり、違うことをやって頂き気分転換をして頂いたり、個々の精神状態に応じて理解して頂けるような声かけに努める。 |
| 32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 終了後も気軽にホームへ寄って頂けるように声かけをしている。お花やお野菜を届けて下さるご家族もいらっしゃる。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居者の生活背景、性格を把握して尊重していくように努めている。困難時はご本人、ご家族に相談させて頂いて、できる限り支援できるように努めている。 | ○ お一人で近隣散歩や買い物に出かけて頂いている。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 他の福祉機関、ご本人、ご家族より情報提供をきちんと行い、職員間で把握して、皆さんにホームで生活して頂いている。 | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 記録（1日の流れ、排泄、水分量、バイタル）の把握と決して強制せずに今までの生活の中で得てきた役割を把握して継続して頂いている。 | ○ できることへのアプローチが、皆さんの自発的な行動につながっていくよう支援していく。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ご本人、ご家族の意見を踏まえ、定期的なカンファレンスを行い、参加できなかった職員には文書で報告している。また困難なときはご家族の意見を聞かせて頂きながら、作成している。 | ○ カンファレンスで非常勤の方が定期的に参加できるようにしていくことで、ご本人の計画作成の幅を広げていく。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護内容に応じて決めた期間を目安に、見直しを行っている。緊急時には随時見直しをしている。 | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------------|--|
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録の記入が一日の流れの中から気づきや工夫につながるように解りやすく様式ができていない。 | ○ | センター方式からヒントを得て記録様式を変更して、介護計画につなげていかなければならない。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 協力医療機関や介護サービス事業者グループホームを理解して頂いているので、福祉会だけでなく周囲との連携をきちんととっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ボランティアは以前から協力して頂いているが、グループホームへの理解があまりないせいか、参加が少なく有効に利用できていない。民生委員さんとは運営推進会議から、協力を賛同を頂いている。消防は定期的に避難訓練の際、来て頂いている。 | | ボランティアの方に来て頂けるように、ホームを理解して頂く為の学習会が必要。 |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ご本人の意見を尊重して職員間で検討して、他のサービス事業者と連絡調整をとりながら適切なサービス利用ができるようにしている。 | | |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に参加して頂き、入居者の情報を伝え必要性に応じて協力をとれる体制にしてある。 | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------------|---|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご家族、ご本人と話し合い、医療機関の希望を聞いている。受診できる方には行って頂いている。難しい方には往診に来てもらっている。 | | |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 協力医療機関に精神科はないが、相談できる医師がいる。 | ○ | 近隣の精神科医とも連携を図れるようにしていく。 |
| 45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 認知症を理解して下さっているので、往診時や電話で相談できる連携体制ができています。 | | |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 主治医、担当看護師と話し合いを持っている。ご家族にも同席して頂いている。 | | |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ご本人、ご家族の意見を尊重した上で、医師、担当看護師、ご家族、責任者で話し合い、職員の意見を総合して方針を共有している。 | ○ | ホームの入居者の高齢化が進むに連れて、終末期をどう受け入れていくかを踏まえて連携をとっていく。 |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 医療依存度が高ければ終末期の対応は困難な為、主治医、担当看護師、ご家族の同席のもとで今後の対応を話し合っている。 | ○ | 終末介護のための学習会が必要である。 |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ご家族、他の福祉施設と情報提供をきちんと行っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者を尊重して、1個人として集団生活においてプライバシーを配慮する場面は多いので、職員間で統一して対応している。 | | |
| 51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 今まで慣れ親しんできた生活様式を変化させないようにご自分でできることはやって頂いて、生活の中での役割を見つけて頂いている。自発的に行動される方もいる。 | | |
| 52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 待つことを大切にして、手を出し過ぎずご本人が自発的にやりたいことや意思を確認し、できる限りして頂いている。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | お洒落が好きな方、嫌いな方がいるが、好きな方にはご自分で服を買ってこられたり、ご家族と行きつけの理容店に行っている。 | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| 54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 個々の嗜好を尊重して食事を提供している。週5日、御昼ご飯作りに3時間の非常勤職員をあてている。できる方に野菜の下ごしらえを頼んだり、配膳、後片付けして頂いている。楽しめるように焼きそばや手巻き寿司といったみんなで作ることを試みたが、なかなか遠慮されてやる方が僅かであらううまくいかなかった。 | ○ | 季節に合わせて外で食べたり、外食の機会を増やしていきたい。 |
| 55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ご本人の希望通り、ご自分でおやつや趣味の花、野菜といった物を買物に行って頂いてる。一人で不安な方には行ける限り一緒に行き、好きなものを購入して頂いている。 | | |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | おむつは不快感があるものと職員間で認識している。回避できる方は使用しないように、排尿間隔を把握してトイレ誘導を行っている。ただ一人、紙パンツを使用し自分でトイレに行かれる方がいるが、失禁が多く対応したいが怒って暴力等がありうまく対応できていない。 | ○ | 精神的な面での把握ができないので精神科医と連携を図り、排泄のアプローチの方法を検討していく。 |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴が好きな方が3名おり、毎日入って頂いている。少ない方は週2回入って頂いている。個々の入浴時間も、その方の時間に合わせて入って頂いている。 | | |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 睡眠バランスが取れない方には、日中天気のよい日に散歩へ出かけたり、家事仕事を手伝って頂きリズムが安定するように支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ご自分の趣味として散歩、買い物に行き気分転換して頂いたり、ご自分の役割として、掃除、洗濯たたみ、洗濯干し食器洗いを自発的にやってくださる時にはお礼の言葉をかけて、継続して頂いている。 | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|-------------------------|--|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 管理ができる方には、ご家族の了解を頂き管理できる範囲内の金銭を持って頂いている。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | お一人で外出できる方が2名おり、ご家族の了解、近隣の協力を得て出掛けて頂いている。その他の方達は、天気のよい日に散歩に出掛けて頂いている。 | | 皆さんの機能低下により、介助する方が増えてきた為、大勢の散歩に行けなくなっているため、その場の体調にあわせて支援していく。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 月に1～2回は他の入居者と一緒に、車で外出している。またご家族と一緒に、ご本人の要望がある時は出掛けて頂いている。 | ○ | ご家族の協力を今後も呼びかけていく。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話は自由に使用して頂いている。手紙も書ける方には年賀状やお礼の手紙を書いて頂いている。 | ○ | 以前手紙を掛けていた方が少しずつ困難になっていることがあるので、職員が付き添いながら少しでもご本人の字でだせるように、支援していく。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時間の制限をせず、自由に来て頂いている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員で学習会を行い認識をして、拘束しないケアに努めている。 | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|-------------------------|----------------------------------|
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | | |
| 67 | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | | |
| 68 | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | | |
| 69 | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | | |
| 70 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | ○ | <p>応急手当の定期的な訓練が行えるように努める。</p> |
| 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | | |

岐阜県 グループホーム北山


| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|-------------------------|----------------------------------|
| 72 | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> | | |
| 74 | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | | |
| 75 | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> | | |
| 76 | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> | | |
| 77 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------------|----------------------------------|
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | インフルエンザ予防接種は全員受けて頂いている。その他の流行の感染症はマニュアルを作成して、対応している。 | | |
| 79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 肉、魚の包丁やまな板をきちんと分けて、使用後は早めに洗浄している。食器も洗浄後、乾燥機にかけてから片付けている。食材も冷蔵庫になくなり次第購入しているので、週3回程度買い物に行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 地域の方の協力でできた建物なので、ボランティアの方見学の方など気軽に出入りして頂いている。建物自体はケアハウスと併設の施設型なので、自然の物や家としてなじみのある物を使用し、環境作りに努めている。 | | |
| 81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日常生活で使用しているものを利用している。植物を取り入れて、入居者の方に手入れをして頂いている。日当たりが強い部分はのれんをつけたり、暗い部分は間接照明を点けている。 | | |
| 82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 皆さんから死角になるような場所にソファをおいて使用して頂いている。入居者同士の交流はご自分の部屋に招いて、おかしを食べたり、お茶を飲まれたりしている。 | | |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|-------------------------|----------------------------------|
| 83 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | | |
| 84 | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | | |
| 86 | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | | |
| 87 | <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p> | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない お一人での外出、ご家族との外出や電話利用、できることを把握した上での皆さんにできる限りして頂き、その都度のお礼を決して忘れずに支援することで自発的に、あるいは声かけして快くやって頂いている。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない おやつや食事時間はゆったりしている。また夕食後起きている方とは談笑しながら、就寝時間まで話している。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ご自分のペースで過ごされる方、時々声かけしながら自分のペースで過ごされる方は見守りしながら生活して頂いている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 出来る事をして頂いたり、趣味をの時間を有効に遣って頂いている。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ご自分で行かれる方には積極的に行って頂いている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ご家族の受診、できない方には往診して頂き、協力医療機関との連携がきちんととれている。安全面で危険性が高い時は、ご本人の思いを職員間で協議して、必要時、ご家族の意見を確認して配慮している。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 入居者のその場の思いを汲み取って対応する事で、ここで生活することを理解して下さる方もいる。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ご家族と連絡を取り、面会時にもコミュニケーションを図っている。何かある時は気軽に話して下さる。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない 音楽療法、床屋を月に1回開催してケアハウスの入居の方が来て下さる。 |

岐阜県 グループホーム北山

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
|-----|---|-----------------------------------|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ケアハウスとグループホームとのバスツアーに民生委員さんのご協力で、地域の方がボランティアに来て下さる。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ストレスの溜まり易い中で、職員間で思いを共有しながら真面目に一生懸命働いて頂いている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 集団生活の中で個々にできる事、皆さんでできる事のできる限り行い、皆さんの思いに答えることでゆったり過ごして頂いている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない グループホームの行事に参加して下さったりと協力して頂いている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

あたり前のことではあるが入居者の方の思いを尊重して、喜怒哀楽や性格もすべてを受け入れていけるように職員で統一している。その中で信頼関係を築き、本音をぶつけあえる関係になれるように努めている。また家の中ばかりの生活は良くないので、なるべく散歩や外出する機会を多く持てる様に心掛けている。入浴はご本人のペースで毎日行い、好きな方には毎日入って頂いている。職員がみんなで協力しあって、利用者の立場に立って対応しようと努力しているところは当グループホームの優れたところだと思っている。また、すぐ隣に病院があり、利用者の容態が悪い時などいつでも受け入れてもらえ診療をうけることができるのは、当グループホームの大きなメリットだと思っている。